



小樽支部 支部長  
秦 健一郎

新年明けましておめでとうございます。北海道行政書士会会員の皆様には日頃よりご厚情を賜り感謝を申し上げます。

令和5年度の当支部事業は、研修や無料相談などコロナ禍で停滞していた活動が再び活発化しましたが、様々な爪痕を残しています。支部総会には出席を自粛要請していた頃が嘘のようですが、コロナ前の出席者数のレベルにはまだ戻りきれておりません。支部研修も出席者数は伸び悩みました。しかし無料相談の相談者数は堅調でコロナの影響はあまりありませんでした。休止していた会員交流事業は、温泉宿泊費の高騰から会食スタイルに変えました。参加者数は低調でしたが、普段なかなかできない素の交流を深めることができました。また、三支部合同研修では旭川支部へお邪魔しました。日帰りでは旭川を満喫できないと思い、宿泊も呼びかけましたところ、参加者10名のうち7名が宿泊し、旭川の美味しいお酒と観光を堪能することができました。

令和6年度は、魅力ある事業を行うことで総会や研修会の出席者をどう増やすかに注力します。特に研修では新会員が溶け込みやすい機会の提供が必要です。

今年も会員の皆様の縁の下の力持ちとなるよう、支部役員一同努力してゆく所存です。会員の皆様のますますのご健康とご多幸をご祈念申し上げます。



釧路支部 支部長  
今村 誠

新年明けましておめでとうございます。

本会会員並びに事務局員の皆様におかれましては、旧年も当支部へ変わらぬご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は私にとりまして支部長就任の初年でありましたが、支部役員をはじめ皆様に支えられながら会務を遂行することができました。支部活動におきましては、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したこともあり、支部総会や研修会等の行事の全てを心置きなく対面にて行うことができ、10月に開催した無料相談会も予想以上の相談者数となりました。また、3月には支部のホームページをリニューアルし、12月には釧路市役所の窓口用封筒へ支部広告の出稿を行うなどこれまでの広報活動に加えた取り組みを行いました。

支部会員の動静につきましては、長年ご活躍いただいた先生方の退会があり大変残念で寂しくもありますが、これまでの支部活動に対するご尽力に感謝申し上げます。一方で、新たな入会者が一定数あったおかげで会員数に大きな変動はありませんでしたが、今後に向けた入会勧誘活動について検討していく必要があると考えております。

今年は辰年。龍が天に昇るが如く諸事に取り組んでいきたいと思っております。

末筆ではございますが、本年も皆様の益々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

